

新明解説

団塊ジュニア社員の活かし方

— Dankai Junior Generation —

人生100年時代におけるDJ世代の人事課題と打開アプローチ

PwCコンサルティング合同会社 作佐部 孝哉 林 真依 中川 智子

■未踏の成長資源を掘り起こそう

団塊ジュニア世代は、企業人事がまだ活かしきれしていない潜在能力であり、埋蔵された資源といえる。ビジネス環境が寸断なく変化するなか、事業や仕事の進め方を常にアップデートできる中堅リーダーの不足は、企業規模を問わない共通の課題であろう。本稿では、ボリュームゾーン的にも本来その対応を先導する主役となりうる世代でありながら、これまで育成・活用上の盲点となってきた「団塊ジュニア世代」の社員に光を当て、彼らの潜在能力を引き出し、さらなる活躍を実現する手法を紹介する。

一方で、社員のキャリアスパンが人生100年時代になっている変化も見逃げない。団塊ジュニア世代の社員が、この先のキャリア、人生にどのように備えていくとよいのか、昨今トレンドとなっている「学び直し」を通じた人材育成の手法を織り交ぜつつ、企業と団塊ジュニア世代の双方が共に成長できる最適解を紹介していく。

目次

1. 人事の観点から見た団塊ジュニア社員とは
2. 迫りくる外部環境の変化と、求められる力の変容
3. 「変化対応力」の獲得は、必須の時代へ
4. 「変化対応力」の獲得に向けた企業の取り組み状況
5. 団塊ジュニア世代を蘇らせるアプローチ
 - (1) 「気づき」の醸成
 - (2) 変化対応力を獲得する、「学び直し」の実行
 - ①変化対応力の土台となるIT活用力を身につける
 - ②「他流試合」を通じて、変化対応力を獲得する
 - インターンシップによる、社外での本気の就業体験
 - プロボノを通じた社会貢献と成長
 - (3) 人生100年時代の学び直しサイクルを循環させる、仕組みの整備
 - ①団塊ジュニア世代の学び直しを後押しする環境整備
 - 時間的な支援
 - 金銭面における支援
 - 職場の理解
 - ②団塊ジュニア世代の学び直しサイクルを循環させる体制整備
6. 学び直しへの3つの機会

●作佐部 孝哉 (さくさべ たかや)

PwCコンサルティング合同会社 パートナー



20年以上にわたり、組織・人事コンサルティングに従事。政府・官公庁の委員をはじめ、数多くの企業で働き方改革のプロジェクトをリードする。人事領域のThought Leaderとして著書・寄稿の実績多数。

●林 真依 (はやし まい)

PwCコンサルティング合同会社 マネージャー



人材のキャリア形成や学び直し、ダイバーシティ推進に関する中央省庁や全国各自治体の事業企画・運営に携わる。主に地域中小企業における多様な人材の活躍支援や、子育て・介護等のライフイベントを抱える人材の就業支援を専門とする。

●中川 智子 (なかがわ ともこ)

PwCコンサルティング合同会社 アソシエイト



経済産業省を経て現職。エネルギー政策、企業会計政策、通商政策等幅広い政策の立案に従事した後、現職では働き方改革等、労働政策に係るプロジェクトを複数手がける。職務評価に関するセミナー講師等も担当している。